

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-294659

(43) 公開日 平成9年(1997)11月18日

(51) Int. Cl.<sup>6</sup>

A 4 7 G 7/06

識別記号

庁内整理番号

F I

A 4 7 G 7/06

技術表示箇所

A

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-176981

(22) 出願日 平成8年(1996)5月7日

(71) 出願人 595036714

森田 順子

札幌市西区平和2条9丁目1-15 宝ハイ  
ツ2階5号

(72) 発明者 森田 順子

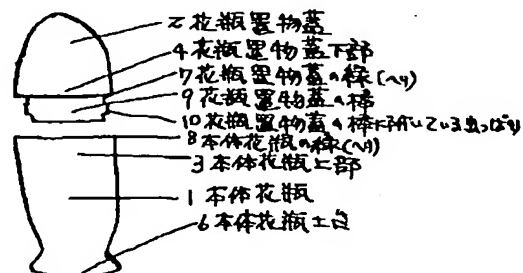
札幌市西区平和2条9丁目1-15 宝ハイ  
ツ2F5号

(54) 【発明の名称】 花瓶置物

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 花瓶として、飾り置物として、常時活用出来ます。

【解決手段】 草花を生ける時は、本体花瓶を利用する。飾り置物として利用する時は、本体花瓶の上に花瓶置物蓋をすると良い。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 草花を生ける時は、(1)本体花瓶に、置物に利用する場合は、(8)本体花瓶の縁(ヘリ)の上に(2)花瓶置物蓋を乗せる。

【請求項2】 (2)花瓶置物蓋と(1)本体花瓶のデザインによって、(図3)(図4)を使いわけ。

(2)花瓶置物蓋のデザインが一方の方に重心がかかり安定性が保つ事が出来ない場合は(図3)を活用する。その場合は(図5)の内側上部に部分おうとつを附け、又(10)の出っぱりを2ヶ所ぐらい部分おうとつを附けると良い。

【請求項3】 (9)花瓶置物蓋の棒(7)花瓶置物蓋の縁(ヘリ)に(11)保護マットをする。(ビニール類など)

## 【発明の詳細な説明】

この発明は、花瓶として、又飾り置物として活用出来ます。又使い方によっては、小物入れにも利用出来ます。従来の花瓶は、花瓶としてだけに利用する。飾り置物は、置物として、それぞれに独立した品物として扱ってきました。草花が飾れていない花瓶は埃を被って放置してある光景を、よく目にする事が、おおくあります。本発明は、草花を生ける時だけの花瓶ではなく、常時活用、利用出来る花瓶置物を考案しました。

(イ) 材質は、ガラス、陶器、プラスチック類、あるいは金属類など。水に強く形に出来る材質で良い。デザインによっては、プラスチック類とガラス、陶器などを

2

組み合わせ花瓶置物を作る事も良いでしょう。

(ロ) 一例として、(図1)(図2)で説明してありますが、ここに書かれてあるデザインは一例にすぎません。調和を考え、いろいろなデザインを創作し、花瓶置物が出来ます。

(ハ) 保護マットは、本体花瓶の縁や、本体花瓶に傷をつけないためです。又、花瓶の縁りと、花瓶置物の縁が、重なり合った時に、擦(す)り切れ、痛まないためです。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の正面図

【図2】 本発明の正面図

【図3】 本発明一部断面図

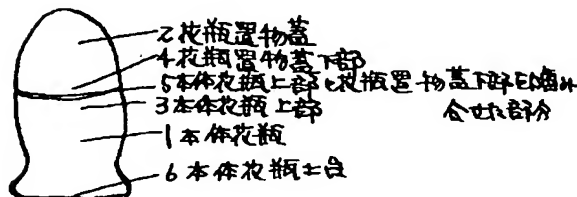
【図4】 本発明一部断面図

【図5】 本発明一部平面図

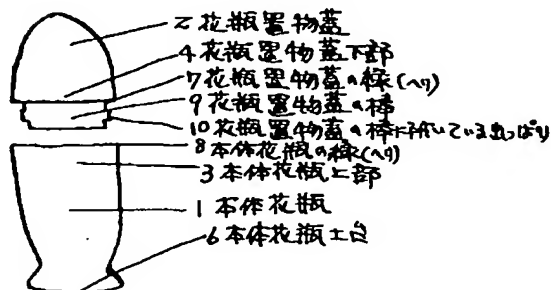
## 【符号の説明】

- 1は本体花瓶      2は花瓶置物蓋      3は本体花瓶上部  
4は花瓶置物下部      5は本体花瓶上部と花瓶置物下部を噛み合わせた部分  
6は本体花瓶土台      7は花瓶置物蓋の縁(ヘリ)  
8は本体花瓶の縁      9は花瓶置物蓋の棒  
10は花瓶置物蓋の棒に附いている出っぱり  
11は保護マット      12は本体花瓶の内側に取りつけられた出っぱり  
13は本体花瓶の内側

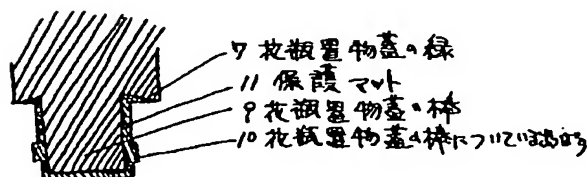
【図1】



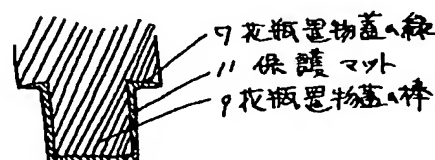
【図2】



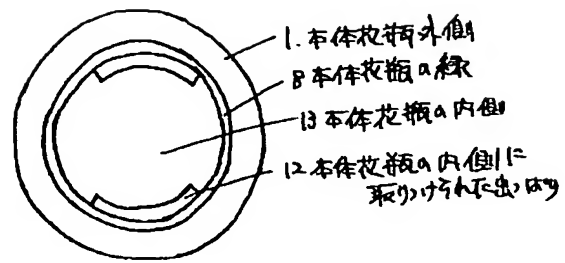
【図3】



【図4】



【図5】



PAT-NO: JP409294659A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09294659 A

TITLE: FLOWER VASE ORNAMENT

PUBN-DATE: November 18, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

MORITA, JUNKO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

MORITA JUNKO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP08176981

APPL-DATE: May 7, 1996

INT-CL (IPC): A47G007/06

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To always utilize this flower vase ornament as a flower vase and as an ornament by forming the main body flower vase so as to arrange the flowering plants therein and utilizing it as an ornament by placing a lid for the flower vase ornament on the edge of the main body flower vase.

SOLUTION: Flowering plants are arranged from the top part 3 of a main body vase 1 formed of a material such as glass, earthenware, plastics or metals. In case when the flowering plants are not arranged from the top part 3 of the main body vase, the edge 8 of the main body vase 1 and the edge 7 formed on the bottom part 4 of the lid 2 of the flower vase ornament are joined together and the projection of a bar 9 formed on the edge 7 is intermeshed with the unevenness on the inside of the main body vase 1 to integrate them in a body. It is possible thereby to utilize it as a flower vase and as a decorative ornament.